

ORIENTAL STUDIES TRIPOS Part II

Japanese Studies

---

Monday 2 June 2008      13.30 – 16.30

---

**J.10    MODERN JAPANESE, 2**

*Answer **all** questions.*

*Write your number **not** your name on the cover sheet of **each** Section booklet.*

**STATIONERY REQUIREMENTS**

*20 Page Answer Book x 1*

*Rough Work Pad*

**You may not start to read the questions  
printed on the subsequent pages of this  
question paper until instructed that you may  
do so by the Invigilator.**

1 Translate the following passage into Japanese: [30 marks]

Japanese taste in painting, in house decoration, in all matters depending on line and form, may be summed up in one word - sobriety. The bluster which mistakes bigness for greatness, the vulgarity which smothers beauty under ostentation and extravagance, have no place in the Japanese way of thinking. The alcove of a Tokyo or Kyoto drawing-room holds one picture and one flower vase, which are changed from time to time. To be sure, picture and vase are alike exquisite. The possessions of the master of the house are not shown broadcast, as much as to say, "Look what a lot of expensive articles I've got, and just think how jolly rich I must be!" He does not stick up plates on walls: - plates are meant to hold food. He would not, whatever might be his means, waste £1,000, or £100, or even £20, on the flowers for a single party: - flowers are simple things, perishable things; it is incongruous to lavish on them sums that would procure precious stones for heirlooms. And how this moderation makes for happiness! The rich not being blatant, the poor are not abject; in fact, though poverty exists, pauperism does not. A genuine spirit of equality pervades society.

Basil Hall Chamberlain, *Things Japanese* (London, 1927), p. 449

2 Summarise this passage in Japanese (about one and a half sheets of genkō yōshi) and say what you think about the writer's views. [35 marks]

何どのんきな国家元首たる  
うが。  
パリ東郊の「ディズニール  
ンド・パリ」はフランスの若  
者たちのデートスポットだ。  
クリスマスの電飾で彩られた  
12月15日、新しい恋人を連れ  
てのこのこやってきたのがサ  
ルコジ大統領(52)だった。  
しかも、お相手は予想もし  
ない大スタ。スーパーモデ  
ルから歌手に転じ、大部分の  
曲を自ら作詞作曲したアルバ  
ム「エルカン・マ・ディー」を  
100万枚以上売り上げたカ  
ーラ・ブルニニさん(39)だ。  
パパラッチの餌食となった大  
統領は、翌週の写真週刊誌を  
大きく飾った。  
——という出来事は、スキ  
ヤンタルでも何でもなし。大  
統領周辺が周到にシナリオを  
書いた芝居の可能性が高い。  
パパラッチの証言だと、カメ  
ラを向けられた大統領は特に  
隠れもせず、制止もしなかつ

たという。写真誌は、大統領  
があえて写真を撮らせたと思  
はれている。  
サルコジ氏はこれまで、  
私生活を小出しにする癖があ  
った。しかも、それを大いに  
利用してきた政治家だ。  
大統領がセシリア前夫人と  
の離婚を発表したのは10月18  
日。この日は朝から、年金改  
革反対のストで鉄道もバスも  
止まり、改革を公約に掲げる  
政権が正念場を迎えていた。  
ところが、昼過ぎの離婚公表  
でストの話題はどこかに吹っ  
飛び、夜8時のニュースは離  
婚一色。離婚手続きが3日前  
に済んでいたことを考えると、公表をストにつけてき  
たのは明らかだった。

も大騒ぎで、大統領はすっか  
り、関心的に復帰した。  
政治家が目立ちたいなら、  
私生活を売り物にするのが一  
番だ。政治家の裏側には市民  
だって興味を持つ。人並みに  
恋をし、失恋すると知らされ  
ると、共感も抱く。  
フランスでこれを「ポリサ  
シオン」(ピープル化、芸能人  
化)と呼ぶ。政治家が政策で  
評価されるのではなく、まるで  
芸能人(「ビューフル」であるか  
のようにその生活スタイルが  
人々の関心を集める現象だ。  
07年の仏大統領選で敗れた社  
会党のロワイヤル元環境相  
(54)も、出産直後の写真を公  
表したり、写真誌で自らのビ  
キニ姿を披露したりした。も  
はや、仏政界に浸透しつつあ  
る症候群だと言っている。

ただ、市民のために尽くす  
べき政治指導者があたかも、  
人々の夢を託されたスターの  
ごとく振る舞うのは、どう考  
えても奇妙だ。しかも、指導  
者の人気に引きずられ、与党  
にくら替えする野党政治家が  
相次ぐ始末である。選挙も、  
政策論争の場ではなく、一種の  
人気投票となってしまった。  
これが健全な民主国家の姿  
だろうか。大統領の姿が至る  
所にあふれ、みんなこぞって  
支持を表明するなんて、何だ  
か独裁国家みたいでないか。

しかし、今日の事態を招い  
た責任をサルコジ氏だけに帰  
するわけにはいかない。ピボ  
リザシオン現象の背景には、  
政策そのものへの市民の関心  
低下があるからだ。情報化や  
グローバル化によって政策が  
細分化、専門化した結果、政  
策論争に市民はついていけな  
くなった。多くの政治家、特  
に野党がその変化に気づか  
ず、内輪で政策を論ずること  
に満足するなかで、いち早く  
変化に気づいて市民にアピ  
ルする方法を生み出したのが  
サルコジ氏だといえる。  
ピボリザシオンは、自らを  
売り込む政治家だけがなす技  
ではない。踊らされる「メイ  
ア」と、興味津々の大衆と、3  
者持ちこたれたりの関係の産  
物だ。3者が遊離せず、かと  
いって共犯関係にもならず、  
互いに距離を置きつつ相手を  
冷静に見つめる相互関係を再  
構築できないか。  
政治家を非難するだけでは  
解決しない。メイアも、有  
権者も問われる時代なのだ。

- 3 Write a short dialogue in Japanese (about one and a half sheets of *genkō yōshi*) beginning as follows. The interlocutors may be either both male, both female, or a mixture. [35 marks]

「えっ、まさか。」

**END OF PAPER**